

1.5°Cライフデザインプロジェクト 実施報告について

▶▶ プロジェクト概要

地球の気温上昇を防ぐため、日常生活における行動やサービスについて、住民の皆様の意見を伺い、2030年の「横浜版ビジョン」を策定する。
環境に関する国際会議等にて京都市ビジョンと合わせて発信していく。

▶▶ 実施結果

- 参加人数** 横浜市民 約30名(洋光台地区 4名)参加
- 実施事項**
- オンラインによるワークショップ(2回)
 - 約60ある行動メニューからできそうなものを選択
 - 家庭での実践(1週間)
 - 行動メニューについて実際の生活にて実践
 - 事後アンケート

▶▶ 参加者の意見による2030年のビジョン

【2030年の横浜市では...】

市民の一人当たりカーボンフットプリントは平均で7.1トンから2.5トンに削減されている。



【何が変化?】

- 自家用車利用の9割が電動自転車やオンデマンドの電気バスを含む公共交通機関に置き換わる。
- 太陽光発電を利用した都市型農園や屋上太陽光発電が多数設置され、多くの市民がRE100%の電力会社から電気を購入している。

▶▶ 新たな展開

未来を担う世代である洋光台第二中学校と連携し、生徒のみなさんができるライフスタイルについて総合学習を実施(R3.7月予定)